

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 12 月 25 日 (2008.12.25)

【公開番号】特開 2006-135999 (P2006-135999A)
 【公開日】平成 18 年 5 月 25 日 (2006.5.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-020
 【出願番号】特願 2005-323024 (P2005-323024)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/22 (2006.01)

H 0 4 L 12/56 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 7

H 0 4 L 12/56 1 0 0 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 11 月 7 日 (2008.11.7)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

複数のアクセス・ポイントからなる分散ネットワークにおける無線通信の方法であって

、

休止状態の呼セッションが活動化することを示す情報を受信する工程と、

前記休止状態の呼セッションを示す識別子を提供する工程とを含み、前記識別子はそこに記憶された呼セッションの状態を示す情報を有するアクセス・ポイントを示す情報を含むことを特徴とする方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法において、前記休止状態の呼セッションが活動化することを示す情報を受信する工程が、前記休止状態の呼セッションが活動化することを示すユーザ入力、前記休止状態の呼セッションに関連する移動体ユニットに送信するデータが利用可能であるという表示、及びページング・メッセージ、のうちの少なくとも 1 つを受信する工程を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記呼セッションの状態を示す情報にアクセスする工程と、前記呼セッションの状態を示す情報をアクセス・ポイントに提供する工程と、移動体ユニットと前記アクセス・ポイントとの間にトラヒック・チャネルを形成する工程とを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

休止状態に先立って、少なくとも 1 つのアクセス・ポイントに呼セッション状態情報を移行させる工程を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

複数のアクセス・ポイントからなる分散ネットワーク内での無線通信の方法であって、休止状態の呼セッションが活動化することを示す情報を受信する工程と、

前記休止状態の呼セッションを示す識別子を受信する工程と、

前記識別子に基づいて複数のアクセス・ポイントの少なくとも 1 つを識別する工程とを含み、前記少なくとも 1 つの識別されたアクセス・ポイントはそこに記憶された呼セッシ

ョンの状態を示す情報を有し、前記アクセスポイントは、前記分散ネットワークへのアクセスを提供するよう構成され、そして前記アクセスポイントは、無線ネットワーク制御装置の機能及びパケット・データ・サービング・ノードの機能のうちの少なくとも1つを実行することを特徴とする方法。

【請求項6】

前記休止状態の呼セッションが活動化することを示す情報を受信する工程が、前記休止状態の呼セッションが活動化するということを示すユーザ入力、前記休止状態の呼セッションに関連する移動体ユニットに宛てたデータ、のうちの少なくとも1つを受信する工程を含むことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記休止状態の呼セッションに関連する前記移動体ユニットに宛てたデータの受信に反応して第1のページング・メッセージを提供する工程と、前記第1のページング・メッセージの受信に反応して移動体ユニットに第2のページング・メッセージを提供する工程とを含むことを特徴とする請求項5に記載の方法。

【請求項8】

複数のアクセス・ポイントからなる分散ネットワーク内での無線通信の方法であって、
第1のアクセス・ポイントを示す情報にアクセスする工程を含み、前記第1のアクセス・ポイントは、前記分散ネットワークへのアクセスを提供するよう構成され、そして前記第1のアクセスポイントは、無線ネットワーク制御装置の機能及びパケット・データ・サービング・ノードの機能のうちの少なくとも1つを実行するものであり、前記方法はさらに、

活動状態セットにある複数の第2のアクセス・ポイントの各々を示す情報にアクセスする工程を含み、前記活動状態セットにある前記複数の第2のアクセス・ポイントは移動ユニットと通信し、前記複数の第2のアクセス・ポイントは、前記分散ネットワークへのアクセスを提供するよう構成され、そして前記第2のアクセスポイントは、無線ネットワーク制御装置の機能及びパケット・データ・サービング・ノードの機能のうちの少なくとも1つを実行するものであり、前記方法はさらに、

前記第1のアクセス・ポイントを示す情報と活動状態セットとを比較する工程と、

前記第1のアクセス・ポイントを示す情報の所定の部分が、前記活動状態セットの複数の第2のアクセス・ポイントの少なくとも1つを示す情報の所定の部分とは異なるときには、呼セッション識別子を要求する工程とを含むことを特徴とする方法。

【請求項9】

前記活動状態セットの複数の第2のアクセス・ポイントの各々を示す情報にアクセスする工程は、前記活動状態セットの前記複数の第2のアクセス・ポイントの各々に関連するカラー・コードにアクセスする工程を含むことを特徴とする請求項8に記載の方法。

【請求項10】

前記第1のアクセス・ポイントを示す情報の所定の部分が前記活動状態セットの複数の第2のアクセス・ポイントの少なくとも1つを示す情報の所定の部分とは異なるときには呼セッション識別子を要求する前記工程は、前記第1のアクセス・ポイントに関連するカラー・コードが前記活動状態セットの複数の第2のアクセス・ポイントの少なくとも1つに関連するカラー・コードと異なるときには、呼セッション識別子を要求する工程を含むことを特徴とする請求項8に記載の方法。